

【事業説明資料】アケハマレモンディグ



私たちは、愛媛主義
南海放送

1. 事業概要

「アケハマレモンディグ」は2024年5月に南海放送内で実施した「社内ベンチャー・新規事業募集」において、社内応募の中から事業化を決定した社内発スタートアップ事業の第二弾です。耕作放棄地を活用した国産レモンの栽培を通して、農家の担い手不足や気候変動による農産物への影響など地域が直面している様々な課題の解決に向けて、地域と連携して取り組みます。また、レモン栽培を契機に、関連する商品の開発・イベントの実施・情報発信など当社が持つコンテンツ制作・イベント運営のノウハウを活用して持続的な地域の活性化に貢献します。

なぜ南海放送？

- ・南海放送の掲げるスローガンである「私たちは、愛媛主義」をレモン栽培を通して体现すること
- ・社会課題の解決を通じた地域への貢献と同時に事業として収益化し、地域の活性化に持続的に貢献すること

なぜレモン？

- ・他の柑橘と比べて比較的高温に強く、今後の気候変動を見据えた選定
- ・樹勢が強く、栽培が比較的小さい（松山からの通いでも栽培できる）
- ・国産レモンの需要は堅調に伸びると予測

2. アケハマレモンディグについて

西予市明浜地区を拠点に柑橘果樹園地の耕作放棄地を再活用した国産レモンを栽培。地元生産者から指導を仰ぎ、栽培から販売に至るメソッドを確立し、2027年度冬からの出荷を目指します。（見込み：約2トン）
また、レモン栽培を契機に、商品開発・イベントの実施・情報発信などにも並行して取り組み、明浜町の更なる地域活性化や交流人口の増加に貢献します。



※ディグ (dig) : 直訳の「掘る」から「情報を探す」「深堀する」「発見する」という意味合い。「アケハマを掘り起こします！！」

3. プロジェクトメンバー

全社横断的に計6名のプロジェクトメンバーを任命し事業を推進します。また、人手のかかる開墾作業では全社からサポートスタッフを募り実施しました。

田中拓希（営業編成本部所属）※リーダー
植田竜一（報道制作本部所属）
小川貴弘（報道制作本部所属）
君岡きらら（営業編成本部所属）
門田伸治（コンサルティング営業局 局長）
桐本 尚（愛媛アライアンス戦略局 局長）

4. これまでの取り組み

2024年12月4日（水）
レモン苗生産地の視察、買い付け
@福岡県久留米市田主丸町



2025年2月15日（土）
耕作放棄地の開墾作業
地元の方々や社内メンバーなど総勢20名



2024年3月29日（土）
レモン苗の植え付け（約100本）
4品種（アレンユレカ、マイヤー、リスボン、璃の香）



5. 広報施策

3/30(土)愛媛新聞 15段広告出稿



公式インスタグラムの開設



アケハマレモンディグとは
西予市明浜地区でスタートアップ事業
西予市明浜町でレモン栽培
アケハマの魅力を盛り込みに
www.akehama-dig.jp



※他、南海放送SNSや番組制作を通して定期的に情報発信